



名称	福島正之の墓
よみがな	ふくしままさゆきのはか
指定	市指定
種別	史跡
種類	遺跡
所在地	本町
所有者	宗光寺
員数	1 基
指定年月日	昭和 36 年(1961)4 月 28 日
構造形式	石造 宝篋印塔
法量	長さ 177.0cm
時代	江戸時代
公開状況	常時公開
交通案内	JR三原駅から西北へ約 800m

【解説】

福島正之(1579～1601)は、福島正則の養子で刑部少輔ぎょうぶしょうゆうともいいます。正則は、幼少の頃から秀吉に仕えて大名になった一人で、加藤清正とともに武将派の重鎮でした。慶長 5 年(1600)関ヶ原の戦後、功によって毛利氏のあとをうけて芸備 498,000 石余に封じられて広島に入国し、このとき、正之を三原城におき、備後支配の要としました。

この墓は、いわゆる越智式おちの宝篋印塔ほうきょういんとうで、東側に同形式の元和 5 年(1619)の銘をもつ宝篋印塔があります。